

## 時代潮流の変化

- ・人口減少、超高齢社会の本格化（2050年に日本の人口は1億人を割り込む、居住地域の6割以上で人口が1/2以下となり、高齢化率は4割を超える）
- ・東京一極集中の進行と地域格差の拡大
- ・切迫する巨大地震の災害リスク
- ・グローバル化と産業構造の変化
- ・科学技術やICTの革新的進歩
- ・経済重視から心の豊かさ重視への価値観の変容

## 国・総合戦略

- ◆まち・ひと・しごと創生本部の設置(H26.9.3)、法成立(H26.11.21)、長期ビジョン及び総合戦略の策定(H26.12.27)
- <長期ビジョン（中長期展望（2060年を視野））>
- （1）2060年に1億人程度の人口を維持
  - （2）2050年代に実質GDP成長率1.5～2%程度維持（人口安定化、生産性向上が実現した場合）
- <総合戦略（4つの基本目標（成果指標、2020年））>
- 基本目標① 地方における安定した雇用を創出する（若者雇用創出数等）
- 基本目標② 地方への新しいひとの流れをつくる（東京圏の転出入均衡）
- 基本目標③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる（第1子出産前後の女性継続就業率等）
- 基本目標④ 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する（地方版総合戦略を踏まえて設定）

## 兵庫県・基本理念

- 1 少子高齢化及び人口の減少を抑制し、県民が将来への希望を持つことができる社会を実現し、県内の各地域で活力を生み出していく。
- 2 大都市、地方都市、中山間地域等が産業、生活等の機能の分担をしながら、活力を持って自立できるよう、人、もの、資本、情報等が活用される環境をつくり、その活発な環流を図る。この場合においては、県民の生活に必要な福祉、消費、交通等のサービスごとに圏域が形成される構造を目指す。
- 3 地域の豊かな自然環境、歴史文化等により育まれた人としての資質、地域社会での支え合い及びふるさとへの愛着に立脚した生活と心のゆたかさを実現する。
- 4 大規模な地震等による災害への備えを整えるとともに、阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承し、安全で安心できる社会を築いていく災害文化を発展させる。

## 総合計画に掲げる「7つの重点目標」

## 【計画の推進に向けて】

- ① 市民と行政の協働による「新しい公共」の領域の拡充
- ② 行政マネジメントシステムの機能強化と効果的運用

## 【施策展開において】

- ① まちの個性を生かし、高めていくまちづくり（宝塚ブランドの強化）
- ② 子どもたちの成長を地域全体で支えるまちづくり
- ③ すべての市民が、安心を実感できるまちづくり
- ④ 環境の保全と、循環型社会の構築に向けたまちづくり
- ⑤ 超高齢社会に対応したまちづくり

## 施策展開における基本的な考え方

## 【施策展開において】

- ① まちの個性を生かし、高めていくまちづくり（宝塚ブランドの強化）  
文化芸術、都市景観、自然環境、住環境など本市が有する魅力は、良好な都市イメージを形成しており、これらの地域資源を活用し、まちの魅力、都市価値の向上につなげます。  
また、その魅力を戦略的・効果的に内外に情報発信し、観光客や定住人口の増、産業の振興、我がまちに対する市民の愛着度の向上につなげ、選ばれるまちを目指します。
- ② 子どもたちの成長を地域全体で支えるまちづくり  
次代を担う子どもたちが、健やかに育つよう、子育て支援や環境づくりを推進し、安心して子育てできるまちを目指します。
- ③ すべての市民が、安心を実感できるまちづくり  
危機管理施設の整備や職員の対応能力の向上など防災体制の充実を図るとともに、災害・防災の情報の共有化、災害時要援護者の支援体制の整備などについて、地域との連携を強化します。また、施設や道路、橋りょう、上下水道などの都市基盤についても、長寿命化の視点から計画的な更新を行います。
- ④ 環境の保全と、循環型社会の構築に向けたまちづくり  
再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの推進を図るため、市民・事業者との協働によりネットワークの輪を広げながら環境負荷の少ない持続可能な社会づくりを目指します
- ⑤ 超高齢社会に対応したまちづくり  
高齢者がコミュニティの中で居場所を見つけ、生きがいを持って、健康に暮らすエイジフレンドリーシティの取組を進めることにより、活力のある、明るい希望に満ちた超高齢社会づくりを目指します。また、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」を構築します。

## 国の総合戦略 基本目標

### 「しごと」と「ひと」の好循環作り

#### 地方における安定した雇用を創出する

- ◆若者雇用創出数
- ◆若い世代の正規雇用労働者等の割合
- ◆女性の就業率

#### 地方への新しいひとの流れをつくる

- ◆地方・東京圏の転出入均衡

#### 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ◆安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会を達成していると考える人の割合
- ◆第1子出産前後の女性継続就業率
- ◆結婚希望実績指標
- ◆夫婦子ども数予定実績指標

### 好循環を支える、まちの活性化

#### 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

- ◆地域連携数など

## 兵庫県の総合戦略 基本目標

### 人口対策

#### 「自然増」対策

#### ～将来への希望がかない、子どもを産み、育てやすい地域をつくる～

- ◆将来への希望や生きがいを持てる多様な働き方の創出  
若者の雇用・就業支援、女性の雇用・再就業支援
- ◆多子型の出産・子育てが可能な環境づくり  
出会い・結婚支援、妊娠・出産の不安解消、就学前の教育・保育、子育て家庭を支える社会づくり

#### 「社会増」対策

#### ～人が集まり、人が定着する地域をつくる～

- 1 地域に根ざしたしごとを創出する
  - (1) 福祉・介護施設の整備促進
  - (2) 担い手の育成 地産地消の推進
  - (3) 地域産業の振興、商店街の活性化
  - (4) 地域産業と結びついたツーリズムの推進
- 2 人や企業、資本の環流により地域の発展力を高める
  - (1) 人や企業、資本の還流促進
  - (2) 人や企業の交流の基礎づくり
- 3 個性あふれる「ふるさと兵庫」をつくる
  - (1) 多自然地域の再生、移住・定着の促進、個性あふれる文化振興、ふるさと意識の醸成
  - (2) 特色あるプロジェクトの展開

### 地域の元気づくり

#### ～活力と安心に満ち、住みやすい地域をつくる～

- 1 兵庫発のイノベーションにより、産業の競争力を強化する
- 2 地域の核となるまちをつくる
- 3 健康長寿社会をつくる
- 4 住みやすい地域をつくる
- 5 県土空間の安全・安心を高める

## 宝塚市の総合戦略（案）

### 基本目標

#### 子どもと子育てにやさしい「まち」をつくります

子どもを安心して産み、育てることができるよう、子育てにやさしく、また、子どもたちが健やかに成長する「まち」を目指す。

#### 産業振興による活力ある「まち」をつくります

宝塚市の強みや個性を生かし、本市への人の流れをつくるとともに、住みたいまちとしての魅力を高め、定住性を高める。  
・地域資源を活用した特産品の開発や販路拡大、異業種連携などによる産業の活性化を図る。  
・北部の農業を生かした6次産業化を推進し、農業の振興を図る。

#### 健康で安心して暮らせる、住みやすい「まち」をつくります

・災害時はもとより、日常生活を安全で安心して暮らせるまちづくりを行う。  
・まちの道路や交通などの環境を整備し、住みやすいまちづくりを行う。  
・全ての市民が健康で、高齢になってもいきいきと生きがいを持って暮らせるまちづくりを行う。  
・市民が元気で活力あるまちづくりを行う。  
・再生可能エネルギーの利用を推進し安全で安心な持続可能なまちづくりを行う。

### 第5次総合計画との関係

#### 子どもたちの成長を地域全体で支えるまちづくり

- ・健康：安心して安全に子どもを産み育てることができるよう支援体制の充実
- ・男女共同参画：女性の労働環境の整備・充実
- ・児童福祉：子育て支援サービスの充実、子育てと仕事の両立支援
- ・学校教育：安全安心な学校園の整備及び時代に応じたきめ細やかな教育環境の整備

#### まちの個性を生かし、高めていくまちづくり

- ・観光：地域資源の有機的連携の促進、国内外からの観光客にやさしいまちづくりの推進
- ・文化・国際交流：戦略的な文化・国際交流事業の推進
- ・市街地・北部整備：活性化に向けた基盤整備の推進、地域資源の活用や他の地域との交流・連携による地域の魅力の高揚

#### まちの個性を生かし、高めていくまちづくり

- ・商業・サービス業・工業  
地域資源活用のための新たな仕組みづくりや商業機会などの創出、宝塚ブランドを生かしたビジネスの育成、起業家ややる気のある事業者に対する支援、地場商工業の活性化
- ・農業：北部地域の農産物の販路拡大や消費拡大による農業の振興、
- ・雇用・勤労者福祉：若者の社会的・経済的自立の支援の仕組みづくり

#### すべての市民が、安心を実感できるまちづくり

#### 超高齢社会に対応したまちづくり

#### 環境の保全と循環型社会の構築に向けたまちづくり

- ・防災・消防、防犯・交通安全
- ・土地利用、住宅、住環境、道路・交通
- ・地域福祉、健康、高齢者福祉、障がい者福祉、保健・医療
- ・都市景観、緑化・公園、環境保全、都市美化・環境衛生
- ・市民自治、市民と行政の協働、情報化、行財政運営

## 宝塚市人口ビジョン（案）

## 人口の現状

- ・国勢調査人口は、総人口、世帯とも増加傾向にあるが、前調査年度に対する増加率は、昭和55年までは13～39%であったが、近年では3%前後となっている。
- ・年齢4区分別人口の推移は、0～14歳及び15～64歳の人口が微減傾向にあり、65～74歳及び75歳以上人口は増加傾向にある。
- ・人口増減のうち、社会増減の推移については、転入者数、転出者数とも近年は減少しているが、転入者数が転出者数を上回っている状況にある。一方、自然増減については、死亡数の増加に伴い、平成25年（2013年）には、死亡数が出生数を上回り、今後自然減が進むことが懸念される。

## 将来展望

## 2060年において、約20万人を目指す

合計特殊出生率	現行	1.34
	2040年	1.76
	2060年	2.00

- ・出生数は、出産適齢女性が減少する中、出生の減少に歯止めをかけ、乳児数（9,450人/5年）を将来的に維持する。
- ・社会移動について、本市の施策を推進することで、結婚・出産・子育て開始世代（25歳～39歳）の人口流出を抑制し、流入を増加させる。

## 宝塚市総合戦略の骨子（案）

## 基本目標

## 子どもと子育てにやさしい「まち」をつくれます

子どもを安心して産み、育てることができるよう、子育てにやさしく、また、子どもたちが健やかに成長する「まち」を目指す。

## 産業振興による活力ある「まち」をつくれます

宝塚市の強みや個性を生かし、本市への人の流れをつくとともに、住みたいまちとしての魅力を高め、定住性を高める。

- ・地域資源を活用した特産品の開発や販路拡大、異業種連携などによる産業の活性化を図る。
- ・北部の農業を生かした6次産業化を推進し、農業の振興を図る。

## 健康で安心して暮らせる、住みやすい「まち」をつくれます

- ・災害時はもとより、日常生活を安全で安心して暮らせるまちづくりを行う。
- ・まちの道路や交通などの環境を整備し、住みやすいまちづくりを行う。
- ・全ての市民が健康で、高齢になってもいきいきと生きがいを持って暮らせるまちづくりを行う。
- ・市民が元気で活力あるまちづくりを行う。
- ・再生可能エネルギーの利用を推進し安全で安心な持続可能なまちづくりを行う。

## 主な施策

- ・健康：安心して安全に子どもを産み育てることができるように支援体制の充実
- ・男女共同参画：女性の労働環境の整備・充実
- ・児童福祉：子育て支援サービスの充実、子育てと仕事の両立支援
- ・学校教育：安全安心な学校園の整備、時代に応じたきめ細やかな教育環境の整備

- ・観光：地域資源の有機的連携の促進、武庫川や宝塚大劇場周辺がもつまちの魅力の活用、国内外からの観光客にやさしいまちづくりの推進
- ・文化・国際交流：戦略的な文化・国際交流事業の推進
- ・商業・サービス業・工業  
地域資源活用のための新たな仕組みづくりや商業機会などの創出、宝塚ブランドを生かしたビジネスの育成、起業家ややる気のある事業者に対する支援、地場商工業の活性化
- ・農業：北部地域の農産物の販路拡大や消費拡大による農業の振興、
- ・雇用・勤労者福祉：若者の社会的・経済的自立の支援の仕組みづくり

- ・防災・消防、防犯・交通安全
- ・土地利用、住宅、住環境、道路・交通
- ・地域福祉、健康、高齢者福祉、障がい者福祉、保健・医療
- ・都市景観、緑化・公園、環境保全、都市美化・環境衛生
- ・市民自治、市民と行政の協働、情報化、行財政運営
- ・北部地域のまちづくり  
北部地域の活性化に向けた基盤整備の推進とともに、地域資源の活用や他の地域との交流・連携による地域の魅力の高揚

## 主な取り組み

- ・妊娠・出産・子育てにおける切れ目ない支援体制の強化
- ・妊産婦に対する事業、乳幼児健診と相談指導、訪問指導の充実
- ・ワークライフバランスの推進、女性の就労支援
- ・子ども家庭支援センター、児童館などでの子育て支援事業の充実
- ・保育所、放課後児童健全育成事業の待機児童の解消
- ・道路や公共施設、公共交通機関のバリアフリー化などによる乳幼児と外出しやすい環境整備
- ・情報教育の充実、安全安心な学校給食の提供と食育の推進、教育施設の整備充実、学習支援などによる魅力ある授業の推進
- ・乳幼児等医療費助成・こども医療費助成、母子家庭等医療費助成、障がい者医療費助成など、福祉医療費助成制度の適切な運営
- ・観光集客施設間の連携・促進、宝塚の魅力を生かした誘客事業
- ・外国人観光客の誘客、観光客向けガイドツアーの充実、宝塚歌劇、手塚アニメの活用や各種メディアによる情報発信の強化
- ・宝塚ガーデンフィールズ跡地の利活用
- ・各種事業の効果的な実施による宝塚文化の創造・発信
- ・芸術・文化に関する市民の自主的な活動の支援
- ・新名神高速道路のスマートインターチェンジやサービスエリア、既存施設の活用と他の地域との交流・連携の推進
- ・起業や事業拡張等の支援制度の充実
- ・地域資源を生かしたブランド戦略の展開、地域資源の発掘及び情報発信
- ・地域での消費拡大の促進、商業施設などの空き店舗の活用促進
- ・若者の就労支援、障がい者・高齢者・女性などの良好な就労環境の確保に向けた啓発、就労支援
- ・NPOとの協働による高齢者向けいきがいビジネスの支援
- ・新規就農者の支援、南部地域の消費者と北部地域の生産者をつなぐネットワークの強化と地産地消の推進
- ・地域資源を生かした新たな商品開発、販路拡大への支援

- ・救急救助業務の高度化及び市民防災力、市民救護体制の充実
- ・防犯パトロール活動の強化及びアトム防犯グループの活動支援、防犯カメラ設置、街路灯や交通安全設備の整備
- ・空き家の利活用支援及び特定空家対策の推進
- ・健全な市街化形成のための道路、公園などのインフラ整備
- ・長寿命化を視野に入れたインフラの適正管理
- ・地域交通連携計画に基づく公共交通の充実、道路のバリアフリー化などによる人にやさしい道路空間の確保
- ・高齢者にやさしいまちづくりの取組、医療と介護の連携による安心して暮らせる地域づくり、地域の健康づくり、介護予防活動の支援、食育の推進
- ・市民主体の地域緑化活動の推進、地域に愛される公園整備
- ・協働による太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入